

# 第160期 株主通信

2023年4月1日 → 2024年3月31日

新家工業株式会社

証券コード 7305

## 株主の皆様へ



取締役社長  
市川 圭司

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。

また、このたびの能登半島地震により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、第160期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の当社グループの業績につきまして、その概要をご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、雇用情勢や企業収益が改善する中で、設備投資等の持ち直しがみられ景

気は緩やかに回復している一方で、個人消費は、所得の伸びを上回る物価上昇の影響もあり、頭打ちとなっております。

鉄鋼業界においては、国内の粗鋼生産量が減少する中、自動車生産向けの需要は緩やかに回復が見込まれる一方で、建築向けの需要は慢性的な人手不足や資材価格の上昇を理由に低迷しております。また、中国やインドの増産から世界粗鋼生産量は増加傾向にあり、海外市場の鋼材価格の下落が危惧されます。

このような情勢のもと、当社グループといたしましては、市況は弱含みで推移する中、主力の鋼管事業を中心に、製品価格の維持に努めました。また、様々なコストの上昇に対して調達方法や拠点ご

との生産品の見直しを行うことで収益の確保に努めました。

この結果、当連結会計年度の売上高は44,556百万円(前年度比4.0%減)、営業利益2,053百万円(前年度比55.6%減)、経常利益2,558百万円(前年度比48.3%減)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は1,691百万円(前年度比44.7%減)となりました。

なお、期末配当につきましては、中長期的な企業価値の向上に向けた戦略的投資や財務体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当の継続と業績に応じた適正な利益配分を行うことを配当政策の基本方針としており、この方針に基づき1株につき155円とさせていただきます。中間配当は見送っておりますので当期の年間配当金は1株につき155円となります。

今後の見通しにつきましては、物価上昇や地政学的なリスクの高まり、中国経済の減速など景気の先行きが懸念され、事業を取り巻く環境は一段と厳しさを増してきております。鉄鋼関連については自動車生産の回復が見込まれる一方で、人手不足は各分野で深刻化しており、特に中小建築分野においては需要の回復には時間を要することが予想されます。

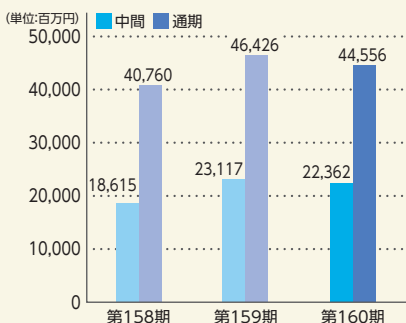
このような中、当社グループにおきましては、グループ間での製販・技術開発の連携を強化し、ステンレス需要の新規開拓に注力してまいります。また、積極的な設備投資を行うことで生産能力を強化し、生産可能品種の拡大やエリア別での拡販活動により収益確保に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。

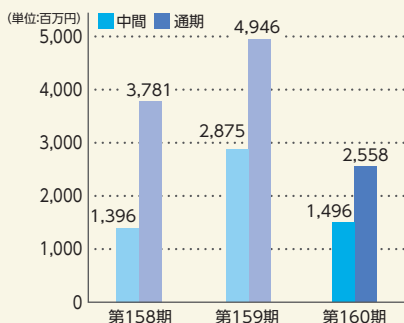
2024年6月

## 財務ハイライト (連結)

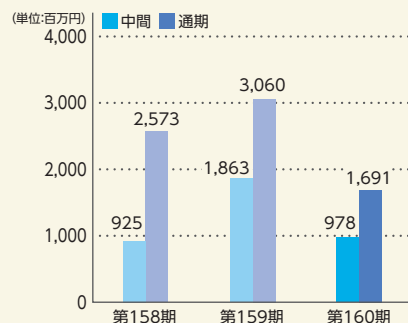
### ● 売上高(連結)



### ● 経常利益(連結)



### ● 親会社株主に帰属する当期(中間)純利益(連結)



# 事業別概況

## 鋼管関連事業

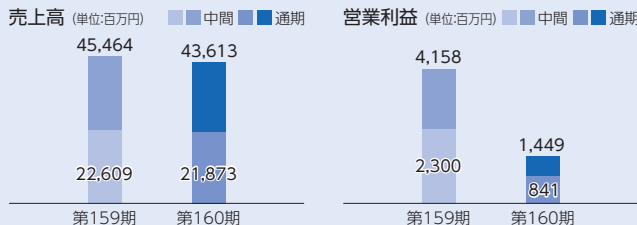
売上高  
**43,613**百万円  
前年度比 **4.1%減**

普通鋼製品につきましては、需要の落ち込みに伴う国内鉄鋼メーカーの供給抑制が継続される中、自動車生産など一部の分野では持ち直しがみられたものの、当社が主力としている建築関連の物流倉庫やデータセンターなどにおいては人手不足を起因とする工事着工の遅れや延期などにより、需要は低調に推移しました。

ステンレス鋼製品につきましては、ニッケル国際価格の下落は歯止めがかかったものの、安価な輸入材の入着は止まらず、国内の製品価格は値下がり基調で推移しました。また、ステンレスを

必要とする半導体製造装置や建材分野での生産調整は長引き、医療、食品、薬品関連、水処理等公共投資関連の需要も低調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は43,613百万円（前年度比4.1%減）、営業利益は1,449百万円（前年度比65.2%減）となりました。



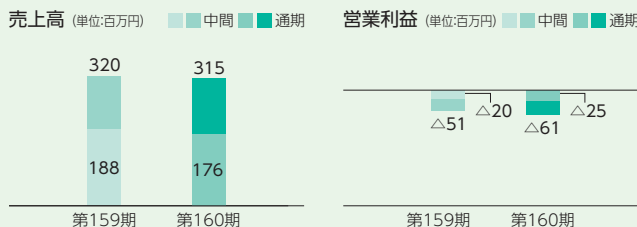
## 自転車関連事業

売上高  
**315**百万円  
前年度比 **1.7%減**

自転車関連につきましては、円安による完成車輸入価格の上昇により、新車への買い替え需要は回復することなく、業界全体に減速感が漂いました。また、市場在庫水準は依然として高く、業者間での受注競争は激化しました。

この結果、当事業の売上高は315百万円（前年度比1.7%減）、

営業損失は61百万円（前年同期営業損失51百万円）となりました。



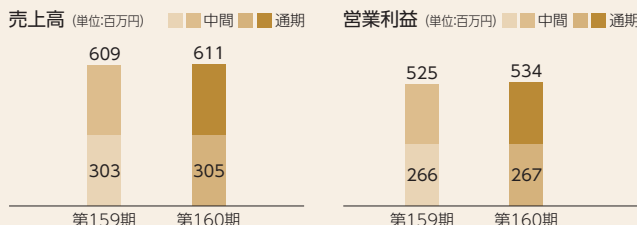
## 不動産等賃貸事業

売上高  
**611**百万円  
前年度比 **0.3%増**

不動産等賃貸収入につきましては、東京都大田区の地代収入を中心に、関西工場リム工場跡地の地代収入や東京都江東区の自社ビル「アラヤ清澄白河ビル」の賃貸収入、大阪府茨木市の地代収入などにより、安定した業績をあげております。

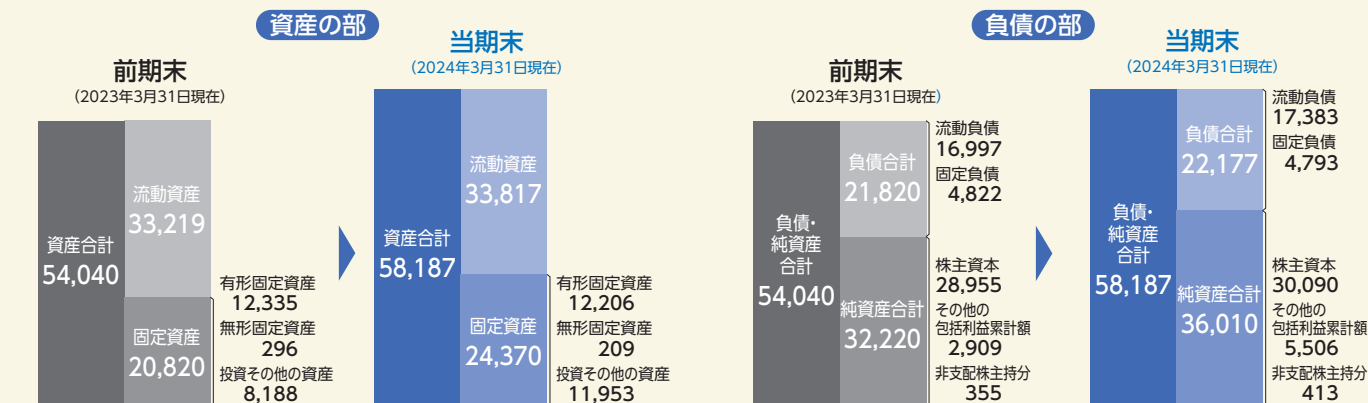
この結果、当事業の売上高は611百万円（前年度比0.3%増）、

営業利益は534百万円（前年度比1.6%増）となりました。



# 連結財務データ

### 連結貸借対照表 (単位:百万円)



## トピックス

# 「中期経営計画2026の公表について」

当社は、2024年2月22日に「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応方針について」および10年後の当社グループの在りたい姿である「長期ビジョン2033」を公表しております。

また、長期ビジョン2033を実現するため、2024年度を初年度とする3ヶ年計画である中期経営計画2026を2024年5月14日に公表いたしました。

詳細については、HPに記載しておりますのでご確認ください。



<https://www.araya-kk.co.jp/investor/library/medium-term.html>

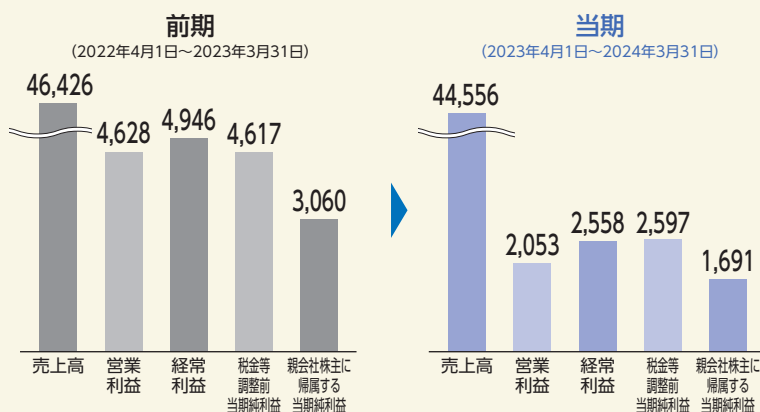
### 長期ビジョン2033



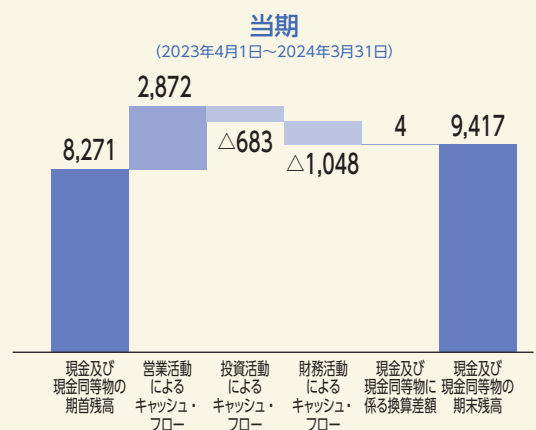
### 中期経営計画2026



### ● 連結損益計算書 (単位:百万円)



### ● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)





## 会社の概要

社名	新家工業株式会社
設立	1919年11月25日
資本金	3,940,277,093円
本社	大阪府大阪市中央区南船場二丁目12番12号
営業所	営業本部 大阪府大阪市西淀川区竹島一丁目1番 東京営業所(鋼管) 東京都千代田区鍛冶町二丁目7番14号 CIRCLES神田駅前11階 名古屋営業所(鋼管) 愛知県名古屋市中区荒浜町三丁目1番
工場	関西工場 大阪府大阪市西淀川区竹島一丁目1番 名古屋工場 愛知県名古屋市中区荒浜町三丁目1番 千葉工場 千葉県印旛郡酒々井町伊篠字大山468-1 山中工場 石川県加賀市山中温泉上原町の3
関係会社	* アラヤ特殊金属株式会社(大阪府大阪市) * 大栄鋼業株式会社(大阪府岸和田市) * ステンレスパイプ工業株式会社(大阪府堺市) * PT.アラヤ スチール チューブ インドネシア (インドネシア共和国) アトラスark株式会社(埼玉県越谷市) (*印は連結対象子会社)

## 役員 [2024年6月27日現在]

代表取締役社長	市川圭司
代表取締役専務	浜田哲洋
取締役	松尾政哉
取締役	金井秀人
取締役	胡居典明
取締役	大槻一
社外取締役	山中拓郎
社外取締役	鳥木千鶴
取締役(常勤監査等委員)	細野豊
社外取締役(監査等委員)	西尾宇一郎
社外取締役(監査等委員)	鈴木蔵人

## ホームページのご案内

<https://www.araya-kk.co.jp>



## 株式の状況

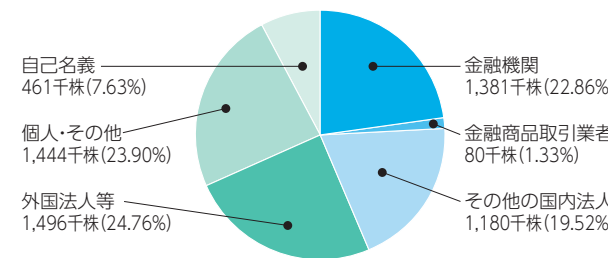
発行可能株式総数	16,000,000株
発行済株式の総数	6,045,326株
株主数(単元未満株主数を含む)	4,194名

## 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
BLACK CLOVER LIMITED	705千株	12.63%
LIM JAPAN EVENT MASTER FUND	272	4.88
株式会社北國銀行	258	4.63
株式会社三菱UFJ銀行	258	4.63
一般社団法人ツバメの会	245	4.39
株式会社りそな銀行	209	3.75
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	195	3.50
阪和興業株式会社	177	3.17
株式会社みずほ銀行	157	2.82
AVI JAPAN OPPORTUNITY TRUST PLC	113	2.03

(注) 1. 持株数については千株未満を、持株比率については小数点以下第三位をそれぞれ切り捨てて表示しています。  
2. 持株比率は自己株式(461千株)を控除して計算しています。  
3. 当社保有の自己株式を除く上位10名を記載しています。

## 所有者別株式分布状況



(注) 株式数については千株未満を切り捨てて表示しています。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(フリーダイヤル)0120-094-777
公告方法	電子公告 当社ホームページに掲載いたします。 ( <a href="https://www.araya-kk.co.jp">https://www.araya-kk.co.jp</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。